

New Edition POWWOW 英語 I 教科書の指導と教科書準拠のワークブックの利用

岡山県立総社南高等学校 黒瀬 義美

1. 英語 I の指導について

昨年度、本校の英語 I の授業は、指導効果を狙って英語 I α と英語 I β の 2 つに分け、前者は POWWOW ENGLISH COURSE I を主たる教材とし包括的な英語学習を、後者は総合参考書で、ドリル演習を通して、英語 I における文法内容を中心に英語の構造を体系的に効果的に学習する、という形態を取った。どちらも週 2 時間充てた。英語 I α を担当した筆者が努めたことについて 2 点ほど触れたい。

① 説明ポイントを載せたプリントを作成・活用 (参考 1)

45 分授業のためにこれまでのように小テストを実施し、朗読指導をしていると時間が足らず、しかし、そうした活動を省くわけにはいかず、そのため時間確保の面から、黒板に書く内容をあらかじめプリン

トにして、授業では主としてそのプリントを使って説明した。生徒には、授業中や放課後や家庭でプリントに書かれている内容をノートに写すことを求めた。これは、ただ見るだけでは気づかなかったことを写す活動を通して気づくという筆者の自己体験による。生徒には写したらプリントは破棄するように指示した。そして定期考査時にノートを提出させ、チェックした。

毎年度末に実施している授業評価アンケートによれば、この授業のプリントの使用について、「ノートに写すということで復習になりよかった」という肯定的な評価が多く見られた。

② 可能な限り本文は暗唱して授業を

高校に入学したばかりの 1 年生は英文の朗読のレベルは概して低い。読めなければ予復習がスムーズ

英Ⅰ Lesson 6 p. 70

part 1

Humans have been suffering from water shortages ever since they settled in Mesopotamia about 6,000 years ago. // As the world population grows, the amount of water needed/increases. // The United Nations tells us that the world population is about 6 billion at present and that one-fifth of it doesn't have safe drinking water. // The number of people living on the Earth will probably be over 9 billion by the middle of this century. // Will there be enough water? Fresh water is supplied from rivers and from underground reservoirs. // Today a great amount of water is needed—10 percent of it for daily life, 20 percent for industry, and 70 percent for agriculture. // As a result, both rivers and underground reservoirs are getting drier in many areas in the world.

① humans = human beings = "人間"
(参考) 形容詞の human ("人間の") もある。
• have been suffering
→ have been + doing "現在完了進行形" である。
• suffer from ~ "〜に苦しむ"
• shortage → ① "short" ("短い"; "足りない")
② も "short"
→ run short of ~ "〜に不足する"
where running short of gasoline.
"ガソリンが不足している"
• ever since ~ "〜以来ずっと"
• settle in ~ "〜に定住する"

② 接続詞 and である。
ここでは "〜と同時に" の意味。
③ the amount of water needed increases
needed は 過去分詞である。
water と修飾
(過去分詞にも限定用法)
④ The United Nations tells us (that) the world population is about 6 billion at present
tell: O₁, O₂ (O₂ が that 節) = "O₁, O₂ と言う"
• at present "現在"
⑤ and (that) one-fifth of it doesn't have safe drinking water
接続詞 that
(目的語の節と導く) that 以下も tell の目的語(O₂)とみる。
78%、2つの that 節 → (that) 節 and (that) 節
動詞の目的語の O₂
→ 最初の that は given、2番目の that は
英文全体の構造は、
S + V + O₁ + O₂ and O₂
The UN tells us (that) 節 and (that) 節 である。
⑥ 分数表現である。 基数 (one, two, three...) → 1 (one) → one-fifth
序数 (first, fourth, fifth...) → 5 (fifth)
例. 2/5 = 五分之二 → 序数に 5 → two-fifths
"五分之二" は "a half", 1/4 は a quarter
→ one-fourth
⑦ people living on the Earth
living は 現在分詞。限定用法で、
→ "地球上に住んでいる人間"
⑧ by ~ (前置詞) "〜で(は)"

(参考 1)

にできず、読めなければ英語を覚えることができないといった理由から、授業内では必ずわずかでも朗読の活動を入れている。クラス一斉の朗読指導をする際、教科書を見ながら行うよりは、教科書を見ずに生徒の目を見ながら行う方が、生徒を活動に引き込みやすい。生徒もかなり積極的に声を出して読もうとするのである。慣れてきたら、数回の朗読後には生徒にも教科書を見ないで教師について読むことを課すのもよい。これは教材が比較的平易である英語 I であることでとりわけ可能であり、幸いなことに、POWWOW ENGLISH COURSE I は各パートが暗唱には適度な長さであるので、誠に実施し易い。

ついでながら、授業での数回の朗読だけではとてもスムーズに読めるようになるわけではないので、生徒には CD を購入させて、家庭学習で利用させた。ただ CD を渡すだけではどう利用すればいいのか迷う生徒もいるので、授業でどのように CD の利用ができるかを生徒の目の前で実施して見せている(例えば、同時読みやシャドーイングなど)。

2. POWWOW ENGLISH COURSE I 準拠のワークブックの採用

英語 I a の教科書として POWWOW ENGLISH COURSE I を選定したものの、学習内容の定着そして実戦応用力の養成をどのように進めていくかということにぶつかり、その対策の1つとして、当然、演習教材としての総合問題集を検討した。従来はさらなる読解力アップを目指して教科書に準拠していない総合問題集を採用してきた。しかし、時として学習者にはやや過重負担となり、果たして当方が狙ったほどの効果があったのかと考えることがあった。つまり、学習した範囲を超えた内容が多く含まれているため、生徒の取り組み意欲をそぐ負の面があるのではないかと考えている。そこで、教科書準拠のワークブックが候補にあがった。時機を失することなく授業で学習した内容の定着を図ることができ、学習者にとっても取り組みやすいこともさることながら、かつて散見された「内容として不十分なレベルな準拠ワークブック」と違い、今回検討した POWWOW ENGLISH

COURSE I のワークブックはかなり満足のいく(発音・アクセント問題、熟語を中心とした語彙問題、文法・構文問題、読解問題と様々な問題と、ポイントの解説もある)などの理由で、採用することに至った。

実際にワークブックを活用する際に注意したのは、
 ①時機を失しない
 ②限られた学習活動からできる限り吸収させる
 この2つのことであった。時機を失しないということでは、その週で学習した範囲を毎週末課題として課し、翌週の最初の日に提出させた。そして、学習者へのインセンティブとして提出を平常点の一部として見なした。また、できる限り効果を上げるために、解答例集をコピーして渡すのではなく、教師自らが解答例を書き、注意したいポイントについては補足の解説を書き加えたものを学習者に渡している(参考3)。このように実際に教師が解くことで不備なところがあれば訂正できるという利点がある。そして、学習者は、必ず渡された解答例をもとに添削して翌週に提出しなければならないことにした。この添削を手抜きすると前述の平常点が減じられるのである。

もう1つの工夫として、英文の意味をしっかりと考えずに解く生徒がいるので、英文に日本語の意味が与えられていないような問題の場合は、余白に必ず各文の意味を書くことをさらに課した。こうしたことを、自作教材ではなく出来合いのものを使うことに対する配慮とした。

誠に主観的であるが、現在まで POWWOW ENGLISH COURSE I 準拠のワークブックを使ってみてこのワークブックの採用は良かったと思う。客観的な数値に表せないが、生徒の取り組み状態を見る限り、生徒にとって適度な負担であり、授業の進み具合ともちょうど合っていたようである。

3. 最後に

以上、ここで述べたことは誰もが思いつようなことであり、どの先生方にとっても何も目新しいことではない。そう思いながらも、新たに教師になられた方には何らかのヒントになるかなと考え直し、寄稿させていただいた。つまらなく思われたらばお許し願いたい。

Part 2 Words & Phrases

1. 左の単語の下線部と発音が同じものを選び、記号で答えなさい。

(1) plumbing [A] ア bathub [B] love [C] jobless [D]
 (2) salty [E] ア happy [F] イ father [G] ② also [H]
 (3) seaweed [I] ② increase [J] イ instead [K] ウ ready [L]
 (4) tease [M] ② meter [N] イ pleasure [O] ウ weather [P]
 (5) concerned [Q] ア hard [R] イ wear [S] ② service [T]

2. 各語で最も強く発音する音節の番号を答えなさい。

ア husband ② イ bath-tub ① ウ bewildered ③
 エ coup-d'etat ② オ egg-dualsly ①②③④ カ alone ①

3. 日本語の意味を表すように、()の中に適切な語を入れなさい。

(1) There has been something (WRONG) (WITH) her.
 (2) He can finish his homework (ON) his (OWN).
 (3) A girl stood crying alone: she (looked) (lost).
 (4) Don't (make) a (sound) when you come home late tonight.
 (5) She welcomed us (with) a (smile).
 (6) He didn't sleep (at) (all) last night.
 (7) The doctor (is) greatly (concerned) about her.
 (8) He (is) not (able) (to) read Chinese.

4. 次の文を()の中の語句に当てはめて1つの文にしなさい。

(1) (I know) Where can we get a taxi?
 (2) (I wonder) Can I get to the station before seven?
 (3) (We must decide) Which movie should we see?
 (4) (He doesn't know) How many students does this school have?
 (5) (I wonder) Does he like Japanese food?

5. 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) I know when the last train will leave this station.
 (2) We don't know if we can open the door with this key.

Comprehension
 本文の内容に合うものには○、合わないものには×をつけなさい。

(1) George, the writer's husband, told her that there was something wrong with the plumbing. And it was true. (X)
 (2) George and Peter found the lost seal pup. (O)
 (3) They named the seal pup Aqua. (O)

(参考2)

英α Workbook Lesson 8
 Part 4 解答例 (添削用)

Part 1

1. 左の単語の下線部と発音が同じものを選び、記号で答えなさい。

(1) swim [A] ア truly [B] イ pull [C] ② son [D]
 (2) vital [E] ア miss [F] ② like [G] ウ prison [H]
 (3) proportion [I] ア heart [J] ② north [K] ウ hard [L]
 (4) famine [M] ア famous [N] ② age [O] ウ wall [P]
 (5) claim [E] ② nature [F] イ life [G] ウ pink [H]

2. 各語で最も強く発音する音節の番号を答えなさい。

ア im-prison ①②③ イ sen-tence ② ウ trag-e-dy ③④
 エ in-cred-ibly ①②③④ オ se-cure ① カ serv-ing ②

3. 日本語の意味を表すように、()の中に適切な語を入れなさい。

(1) I will remember your kindness (for) life.
 (2) I can (no) longer wait for him.
 (3) He is known (as) a great artist.
 (4) What is the (sum) (total) of 8+11?

4. 日本語の意味を表すように、次の語(句)を並べかえて文を作りなさい。

(1) are, HIV, infected, millions, people, of, with
 (2) clean, helped, my brother, the living room
 (3) My brother helped clean the living room.

CHALLENGE
 次の英文を読み、問いに答えなさい。

HIV/AIDS has hit Africa harder than any other part of the world. (a) More than 17 million Africans have died from AIDS and another 30 million are infected with HIV. Among those people (b) are infected, about 1.5 million are children. Every day in Africa, 6,500 people die from AIDS, and 9,500 people are infected with HIV. Also, 1,400 'newborn babies are infected during childbirth or by their mothers' milk each day. People with AIDS don't suffer alone. The disease hits their families and communities, too. Eleven million African children have already (c) one or both parents to AIDS. If we do (d) to stop this 'situation now, there will be more AIDS orphans in the future. (e) We will see more children () not only their parents () also their friends and teachers.

(HELP) newborn baby 新生児 community 地域社会 situation 状況

(1) 下線部(a)を日本語に訳しなさい。
 (2) 空所(b)-(d)に入る語を下から選び、記号で答えなさい。
 (3) 下線部(e)が次の日本語の意味になるように、()の中に入れる適切な語を書きなさい。

Comprehension
 本文の内容に合うものには○、合わないものには×をつけなさい。

(1) The concert was held in Cape Town. (O)
 (2) According to Mandela, AIDS is just a disease. (X)
 (3) Mandela thinks AIDS patients are like people serving a prison sentence for life.

(参考3)